

大阪都構想を必ず実現する道筋

佐々木 信夫

(中央大学教授)

1. 大阪都構想のキィ概念

- ① 分権化～特別区制度の創設（住民自治の強化）＋特別区相互間のまちづくり競争
- ② 集権化～広域政策、広域行政の司令塔＋関西圏の拠点性が高い大阪都庁の創設
- ③ 民営化～地下鉄、バス、上下水、病院、市場、大学、各種公共施設の民間化
＋
- ④ 成長戦略～対外戦略としてアジアのヘッドクォーターたる先導戦略ビジョンを描く。
- ⑤ 副首都構想～国内的には西日本の拠点として「副首都」構想＝西の「都」である。

* 現在、網掛け部分が欠落している。大阪都構想は大阪市解体、特別区創設に傾斜しているため、行革の話に矮小化されている（300億節減論）。そうではなくて、もう1つ大阪府庁解体、大阪都政の組織体系を含む大阪都創設が並行的に必要である。

でないと、集権化の議論も、都制移行に伴う成長戦略も、新大阪大都市（副首都）のイメージも形成できない。そこに、大阪都構想の行き詰まり感があるのではないか。

2. 大阪府解体、大阪都創設の改革戦略

- ① 東京の都区制度は、東京府・市の合体で広域行政とされた上下水、消防、港湾、交通、ごみ処理（2000年まで）を抱えた制度のままである。戦後都制は、特別区ともたれあいの不完全な、未整理の関係のままである。大阪都構想は、これら広域行政事業を大阪市から吸い上げる話だと意味がない。これは相当程度、民営化できる事業領域。
- ② 東京都制に長らく言われてきたのは、「府県行政への純化」であった。これからの大阪都は、法律上、府の役割に戻す事業等を除き、特別区を中核市並みに扱うことで、基礎自治体に処理させるべき。むしろ道州制を睨んだ広域政策にシフトした、事業官庁ではなく、「政策官庁・大阪都制」の創設をすべき。それが後発スタートの利益だ。
- ③ 大阪府解体、大阪都創設の場合、司令塔一本化の戦略室がいる。大阪都政策局の創設を提言したい。それは内閣官房と経済産業省を合体した、強い政策局のイメージ。

大阪市を除く42市町村は、大阪都構想から外れているという意識をもっているのでは。そうではない。大阪府内の大胆な地方分権を進める地域主権構想がある。

- ④ 「夢をもてる大阪構想」をどのように描くか、それはアジアのヘッドクォーター特区構想として、大阪のポテンシャルを開花させる成長戦略を構想することが必要。それには、経済界と共同で構想用シンクタンクを早急につくること。関西経済界がやりたいと思っていることを限りなく実現する、そうした未来志向の戦略構想を描くこと。例えば、5年間で域内GDP5～10兆円の成長は可能だという、具体的な数値目標を。

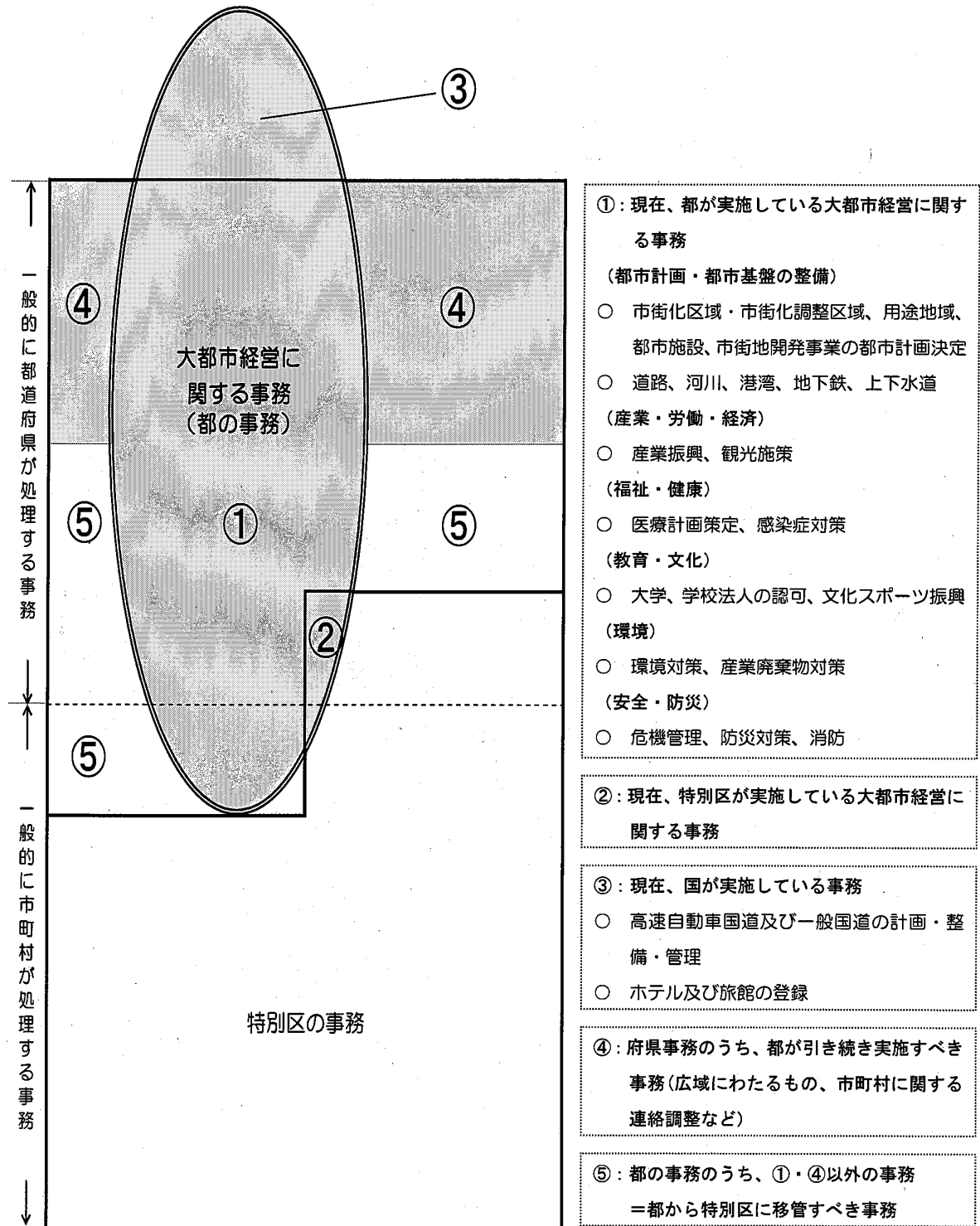
3. この改革を日本の改革へ～統治機構改革の縮図に

- (1) 道州制改革へつなげる～国家の統治機構改革の起爆剤と期待(全国的に注目)
- (2) “強い都”、“やさしい特別区”の棲み分けで、それぞれが役割を明確に発揮する
- (3) 大阪都、東京都は日本の「二都物語」(二極)として、分極型国土の形成へ寄与
- (4) 大都市は民間活力が旺盛でなければ成長しない。官治型都制ではなく民治型へ
- (5) 国際戦略につなげる、成長戦略を官民協働で策定し、大阪の方向性を共有する
- (6) 要は「ヘッドクォーター」をどう形成するか。大阪経済成長戦略本部を経済界の肝いりでつくったらどうか。行革の都構想からの脱皮が緊要である。

4. 「都区制度」創設までの主な作業領域

- (1) 都区双方の事務事業に関わる業務分担の整理← ○
- (2) 都区双方に関わる税財政、とくに都区財政調整制度に関わる制度設計← △
- (3) 都区双方に関わる職員の再配置、身分変更について(配属職員制度など)← ×
- (4) 特別区の区割り案(中核市並み、人口50万の適正規模論)の策定← ○
- (5) 特別区の議会制度(議員数、選挙)、及び行政組織(統治機構)の設計← ×
- (6) 各種行政委員会(人事委員会、教育委員会など)の設置形態のあり方← ×

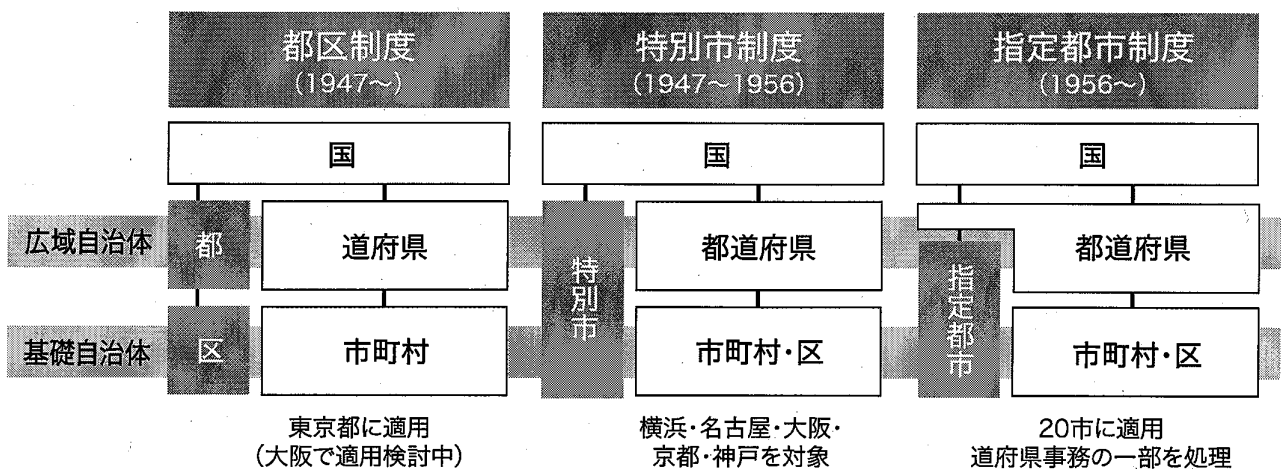
特別区の区域における大都市経営に関する事務 (主な事務の例示)



注 上記の図は特別区の区域における大都市経営に関する事務を説明するためのものであり、各事務の量を表すものではない。

●日本の大都市制度

1947年(昭和22年)に横浜、名古屋、大阪、京都、神戸を対象に、県と市の機能を併せ持つ「特別市制度」が創設されました。しかし、府県の猛烈な反発により、1956年(昭和31年)に廃止され、暫定的制度として「指定都市制度」が創設され、現在に至っています。



●諸外国の大都市制度

諸外国
では
?

諸外国には、多様な大都市制度があり、首都以外の大都市にも、大都市制度の適用が一般的となっています。

